

ペットと家族の絆を 永遠に

「透明性が紡ぐ「愛の丘」の真心の供養」

岐阜市を中心に活動する「ペットセレモニー愛の丘」代表の長屋 琢也さんは、かつてガソリンスタンドのマネージャーを務めるなど、長年接客業の最前線に身を置いてきました。売上至上主義の環境に葛藤を抱く中、求人誌で出会った「ペットセレモニー」という仕事。初めて葬儀に携わった際、涙ながらに「長屋さんに頼んで本当に良かった」と感謝された瞬間、接客業で初めて鳥肌が立つほどの感動を覚えました。その経験が、この道を一生の天職にする決意させ、自らの理想とする誠実さを貫く葬儀社の設立へと繋がったのです。



ペットセレモニー愛の丘
 代表
 長屋 琢也さん

ペットの「終活」と 家族へ寄り添う究極の所作

長屋さんは、自身の理想とする心から信頼される葬儀を実現するため、独立にあたって1年間の準備期間を設けました。あえて異業種の空調設備業に従事しながら、自身の進むべき道をじっくりと練り上げたこの期間、長屋さんの支えとなったのが、岐阜商工会議所が主催する「夢をかなえる創業スクール in G I F U」での出会いでした。

「独立という孤独な戦いの中で、創業スクールで出会った仲間たちの存在は計り知れないほど大きかつ

た」と長屋さんは振り返ります。そこには、業種こそ違えど、同じように志を抱き、悩み、挑戦し続ける起業家の卵たちが集まっていた。長屋さんがそこで得たものは、単なる経営のノウハウだけではなくありません。お互いの苦勞を分かち合い、夢や社会貢献のあり方について熱く語り合い、時には厳しく指摘し合うことで、自身の哲学をより強固なものへと磨き上げることができたのです。「起業して壁にぶつかった時、あの時切磋琢磨した仲間と今でも情報交換をし、刺激し合えることが、何よりの財産になっています」と語るその表情には、誠実な仕事を支える

強い横の繋がりにへの誇りが滲みま

す。こうして培われた哲学の中で、長屋さんが特に確信したのは生前からの関わりがご家族の救いになるということです。「多くの方はペットが亡くなってからパニック状態で業者を探しますが、動揺した中では冷静な判断ができず、後に一生の後悔を残してしまうこともあります。だからこそ、元気なうちから信頼できる業者を調べ、電話一本でもいいので人柄を確認しておく『終活』が重要なんです。それが家族としての最後の責任であり、最大の愛だと思っんです」と長屋さんは説きます。終活アドバ

イザーの資格も持つ彼は、生前から「楽しかった思い出を記録し、写真を整理しておくこと」を推奨し、ご家族が納得してその時を迎えられるよう、心の準備を献身的にサポートしています。実際の現場においても、長屋さんのこだわりは徹底しています。特に身だしなみについては、業界でも類を見ないほど細心の注意を払っています。「お客様は、私たちの立ち振る舞いや清潔感を見て、安心できるかどうかを判断されます。悲しみのどん底にいるご家族にとって、業者は最初に出会う『日常の外の人間』です。言葉遣いや所作はもちろん大切ですが、それ以前

にアイロンがびしっと当たった白シャツ、曇り一つなく磨き上げられた靴、そして徹底的に清掃された火葬車で伺うこと。この『当たり前』の清潔感こそが、動揺するご家族の心を鎮め、信頼へと繋がる最初のステップになるんです」

また、長屋さんは火葬して終わりという考えを持ちません。返骨後、自宅で一人深い悲しみに暮れているご家族がいないか、SNSやメールを通じてこまめに気を配ります。必要であれば専門のグリーフケアカウンセラーを紹介することもあり、一つの縁を長く、大切に育み続ける姿勢を貫いています。こうした一つひとつの積み重ねが、単なる業者と客という関係を超え、家族の一員を見送るパートナーとしての揺るぎない信頼を築き上げているのです。

さらに、長屋さんは全国の同業者とも積極的に交流し、技術や接客能力を高め合うネットワークを構築しています。「選ぶのは結局ご家族様。私たち業者は互いに切磋琢磨し、最高品質のサービスを競い合うべき」という開かれた姿勢は、閉鎖的になりがちな業界に新たな風を吹き込んでいます。創業期の試練を仲間と共に乗り越え、誠実さを何よりも重んじてきた長



ペットセレモニー愛の丘

住所 岐阜市津島町4-68-1
 TEL 070-2303-1194

屋さんだからこそ、ご家族の痛みに心から共感し、その手にそっと寄り添い続けることができるのです。

「愛の丘」から「虹の橋」へ

「愛の丘」という屋号には、世界中で愛されている物語『虹の橋』への深い敬意と願いが込められています。亡くなったペットが虹の橋のたもとにある美しい丘で、大好きな飼い主を待ち続ける。その物語のように、再会の時まで愛する家族を大切に預かる「愛にあふれた場所」でありたい―この屋号は、長屋さんがご家族に対して誓う、誠実な約束の証でもあります。この願いを具現化するために、長屋さんが最も重要視しているのが、業界の常識を覆す圧倒的な透明性です。

「不透明な部分が多いとされるこの業界だからこそ、すべてをさらけ出すことが信頼の証になります」と語る通り、明朗な見積もり提示はもとより、ご家族の目に見えない部分での配慮を徹底しています。例えば、お引き取りプランである一任火葬であつても、火葬前後の様子を必ず写真に収め、公式LINE等でご家族に送付して

います。これは「誰にも見られていないからといって、乱暴に扱うようなことは絶対にしない」という誓いの表れでもあります。希望者には火葬炉の中やプロセスもすべて公開する。そこまで透明性を追求する姿勢こそが、長屋さんのプライドなのです。

また、長屋さんの活動は点ではなく、地域という面へと広がっています。歴史ある地元の提携寺院と連携し、単なる施設の利用ではない心から手を合わせられる供養の環境を整えています。散歩ついでにお寺へ寄り、納骨堂や樹木葬の場所でもペットに声をかける。そんな日本古来の供養文化をペット葬儀にも取り入れることで、ご家族の心が真に救われる場を提供しています。

さらに、社会貢献活動を事業の主軸の一つに据えている点も大きな特徴です。地域の小学校で飼育されていた動物が亡くなった際、無償で火葬・供養を行う「命の授業」を継続。子供たちに命の尊さと別れの儀式の意味を伝えていきます。また、ご家族から預かったフードを動物保護団体へ寄付する「虹の橋支援」など、地域社会への還元を惜しみません。「利益を上げることが、こうした社会貢献や、

誰かの力になる活動をより広く、長く続けるために不可欠なプロセスです」と語る長屋さん。その視線の先には、揺るぎない将来像があります。拠点を広げて岐阜県内でペット葬儀に後悔する人をゼロにすること、そして岐阜の夏の象徴であるぎふ長良川花火大会で『愛の丘玉』を打ち上げることです。夜空を見上げ、亡くなった子たちを思い出しながら地域の人々が笑顔になる。その光景を夢見て、長屋さんは今日も誠実に命と向き合っています。

透明な誠実さと、地域への深い愛。長屋さんが紡ぐ「愛の丘」の物語は、ペットと家族の絆をより強く、温かな未来へと繋ぐ架け橋となっています。いつか打ち上がる大輪の花火は、その情熱が地域に深く根付いた証となるはずで

